

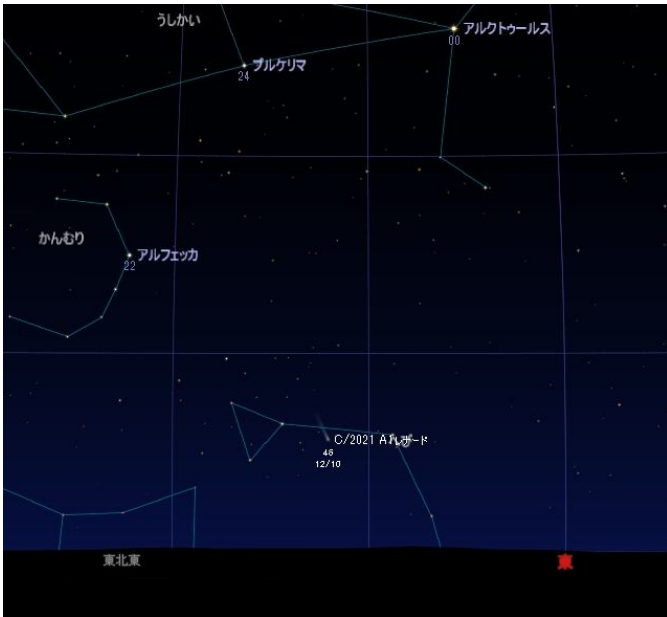
「レナード彗星 (2)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

レナード彗星は非常に動きが速い。天球上の動きもすさまじく、日ごとに次から次への別の星座を「訪問」している。

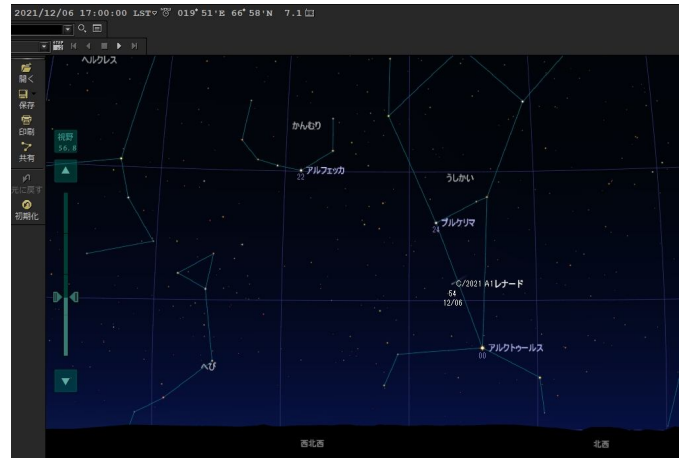


これは 12 月 9 日朝 4 時のレナード彗星の位置だが、前日よりも 10 度近くも移動している。これは、レナード彗星の実体の移動速度が、最高秒速 70km と非常に大きいからである。彗星は太陽に近づくほど速度を増し、尾も長くなる。このままいくと、レナード彗星は太陽付近で消滅するという説もある。



写真は、ジョージア州サバンナのパトリック=プロコップ氏が撮影した「レナード彗星」である。コマ(水星の中心)付近が青緑色に見え、実に美しい。日本国内で、私でも撮影が可能だろうか？

幸い、私と仲間がスウェーデンの北極圏に設置した「オーロラカメラ」が稼働している。このカメラはデジタル一眼レフカメラを使用しているので、低照度の彗星でも写せる可能性はある。



私は、天文シミュレーションソフト「ステラナビゲーター」に現地の緯度・経度、レナード彗星の軌道要素を入力し、見え方を調べてみた。すると、現地時刻の 16~18 時頃、北東の空、地平高度 10~20 度あた



りに見えることがわかった。今の時期、北極圏は夜が長いので、非常に期待できる。しかもこれはカメラが狙っている「空域」と一致する。

12 月 6 日には、うしかい座アル

クトゥールスの近くに見えることもわかった。



これが 12 月 6 日 16:30 (現地時刻) の写真である。オーロラが写っている。街灯の左の輝星がアルクトゥールスである。果たして彗星は写っているだろうか？